

登録コード	E2416900	開講年度	2026				
授業科目	独唱法				担当教員	田島 達也	
英文授業名	Vocal Exercise				副担当		
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	3年生、4年生
講義室	教育N 4 0 2		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	クラシック系の声楽曲においても、曲に応じて多様な特徴や背景があり、それらを思考しながら、より良い演奏にするための技能や表現力の重要性を認識できること。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	イタリア歌曲、オペラアリア、日本歌曲、ドイツリートなど、各受講生が興味のある声楽曲を選択し、曲の特徴や背景について検討することなどを通して、その曲の良さが表現できるような演奏をすること。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	様々な声楽曲やアリア等の中から、より高い歌唱技術や表現力が求められる楽曲を教材として取り上げる。各曲の音楽の要素の違いから来る曲想の印象や歌詞の内容から、演奏するにあたってどのような工夫が必要かを考え、技能の向上とともに演奏力が高まるように指導を行う。また、各受講生あたり最低1曲は弾き歌いも行う。						
(5)授業計画	第 1 回：授業の説明 第 2 回：Salve del ciel Reginaの歌唱 第 3 回：Nebbieの歌唱 第 4 回：Ave Mariaの歌唱 第 5 回：Mi chamano Mimiの歌唱 第 6 回：Donde lietaの歌唱 第 7 回：Dove sonoの歌唱 第 8 回：中学校歌唱共通教材の弾き歌い① 第 9 回：中学校歌唱共通教材の弾き歌い② 第10回：すてきな春にの歌唱 第11回：かやの木山の歌唱 第12回：鐘が鳴りますの歌唱 第13回：Allerseelenの歌唱 第14回：Zueignungの歌唱、授業アンケート 定期試験						
(6)成績評価の方法	平常の取り組み(40%)，及び実技試験(60%)の合計で評価する。 平常的には、受講生自身の歌唱技能や表現力の向上、またレパートリーの拡大に対してどのように取り組んでいるかを評価する。実技試験では、それらの勉強の成果として総合的な歌唱力を評価する ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	自らの歌唱力についての的確な認識を持ち勉強しているが、楽曲の良さを表現する演奏まではいかない場合は「水準にある」、歌唱力における自らの欠点等を克服しながら、楽曲の良さが概ね表現されていれば「やや上にある」、難易度の高い楽曲に積極的に取り組み、楽曲の良さが概ね表現されていれば「かなり上にある」、難易度の高い楽曲であっても楽曲の良さが十分表現され、豊かな声の演奏であれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	授業で取り上げる楽曲については事前に譜読み等を行い、伴奏者と合わせをしたうえで授業に臨むこと。 仕上がった楽曲についても、指摘を受けた内容について復習をすること。 また、発声練習は毎日行うこと。						
(9)履修上の注意	声のウォーミングアップを行ってから授業に臨むことが望ましい。 教育実習参加による授業欠席分の補講課題はealpsに掲載するので、課題を必ず提出すること。 のどや体調が悪い場合は、無理に出席する必要はありません。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問等は随時受け付けます。連絡はメールでお願いします。ttajima@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	声楽名曲選集 イタリア編Ⅱ 大阪音楽大学編 オペラ名アリア選集Ⅰ 音楽之友社編 日本歌曲集 全音楽譜出版社 中学校音楽科教科書 他						
【参考文献】	なし						